平成24年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月6日

上場会社名　日本フェンオール株式会社　　上場取引所　大
コード番号　6870　URL　http://www.fenwal.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 井口　雅雄
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理統括部長　(氏名) 高田　忠夫　TEL 03-3237-3561

四半期報告書提出予定日　平成24年11月7日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年12月期第3四半期の連結業績(平成24年1月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年12月期第3四半期	12,409	11.5	813	37.0	949	82.4	571	417.2
23年12月期第3四半期	11,126	1.1	593	138.7	520	170.0	110	△16.5

(注) 包括利益　24年12月期第3四半期　568百万円　(290.1%)　23年12月期第3四半期　145百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年12月期第3四半期	96.99	―
23年12月期第3四半期	18.75	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年12月期第3四半期	13,595	6,005	44.2	1,019.18
23年12月期	12,822	5,596	43.6	949.76

(参考) 自己資本　24年12月期第3四半期　6,005百万円　23年12月期　5,596百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年12月期	―	0.00	―	27.00	27.00
24年12月期	―	0.00	―		
24年12月期(予想)				27.00	27.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成24年12月期の連結業績予想(平成24年 1月 1日～平成24年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,509	5.3	927	5.1	1,100	30.5	643	151.2	109.12

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） ： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 無
② ①以外の会計方針の変更 ： 無
③ 会計上の見積りの変更 ： 無
④ 修正再表示 ： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	24年12月期3Q	5,893,000 株	23年12月期	5,893,000 株
② 期末自己株式数	24年12月期3Q	165 株	23年12月期	165 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	24年12月期3Q	5,892,835 株	23年12月期3Q	5,892,910 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続きは終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、[添付資料]3ページ「1．当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 3
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
（４）追加情報 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 7
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 8
（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 8
（５）セグメント情報等 …… 8

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第３四半期連結累計期間におけるわが国経済は、震災からの復興需要や個人消費が牽引となり内需を支えたものの、長期化する円高や世界経済の減速等を背景として、景気回復に足踏みがみられる状況となりました。

このような事業環境の下、当社グループにおきましては、中期３ヵ年計画の２年目にあたり、差別化された高付加価値製品の提案型営業を積極的に推進してまいりました。また、生産拠点である長野工場におきましては構造改革に着手し、棚卸資産の削減、外注加工品の内製化等、生産性の向上にも取り組んでまいりました。その他、海外子会社におきましても、生産用部品の現地調達率を高めるなど、為替変動リスクと製造コストの削減にも取り組んでまいりました。

以上の結果、受注高は12,087百万円(前年同四半期比7.4%増)、売上高は12,409百万円(前年同四半期比11.5%増)となりました。

利益面におきましては、主要客先における会社更生法適用申請により、貸倒引当金が大幅に増加したものの、売上増加にともない、売上総利益が増加したことにより、営業利益は813百万円(前年同四半期比37.0%増)となりました。経常利益につきましては、人工腎臓透析装置の内１機種の「医療機器製造販売承認」を主要客先に承継したことにより譲渡益が100百万円発生したこと等により、949百万円(前年同四半期比82.4%増)と大幅に増加いたしました。四半期純利益につきましても、経常利益の大幅な増加にともない、571百万円(前年同四半期比417.2%増)となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

SSP (Safety Security Protection) 部門

防災業界におきましては、需給関係に明るい兆しは見え始めているものの、依然として公共投資及び民間設備投資が本格的に回復するまでには至っておらず厳しい環境で推移いたしました。

このような環境の下、新規顧客開拓に注力すると共に、得意分野であるガス消火設備等を中心に拡販に努めてまいりました。また、既設の消火設備用ボンベの定期点検要領改正にともなう、容器弁交換需要が増加いたしました。

以上の結果、受注高は3,019百万円(前年同四半期比3.3%減)、売上高は3,418百万円(前年同四半期比15.4%増)となりました。

サーマル部門

当該部門の主力市場である半導体業界は、自動車及びスマートフォン向けの需要は堅調に推移したものの、パソコン向けフラッシュメモリーの需要の低迷等により、半導体製造装置の需要が減少した他、国内半導体メーカーが海外ファウンドリとの厳しい価格競争を強いられた影響等により、当該部門の主力製品でありますセンサー、熱板等の出荷が大幅に減少いたしました。

以上の結果、受注高は944百万円(前年同四半期比23.2%減)、売上高は940百万円(前年同四半期比23.1%減)となりました。

メディカル部門

当該部門の主力製品である海外向け人工腎臓透析装置は、販売元での在庫調整等が一巡したことにより、当社からの出荷も増加いたしました。

以上の結果、受注高は1,301百万円(前年同四半期比26.4%増)、売上高は1,246百万円(前年同四半期比14.2%増)となりました。

PWBA (Printed Wiring Board Assembly) 部門

プリント基板の実装と組立てが主体の当該部門におきましては、事務機器業界の顧客を中心に中国やアジア向けの需要が堅調に推移いたしました。また、海外生産移管により国内生産が先細る中、国内の受注獲得に向けての新規顧客開拓を継続的に進めており、その結果、引き合い案件も増加しつつあります。

以上の結果、受注高は6,821百万円(前年同四半期比16.2%増)、売上高は6,803百万円(前年同四半期比16.3%増)となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

当第３四半期連結会計期間末における資産合計は13,595百万円となり、前連結会計年度末12,822百万円に比べ773百万円(6.0%)増加しております。主な増加要因は、現金及び預金の増加1,693百万円(78.8%)であり、主な減少要因は、完成工事未収入金の減少733百万円(64.2%)であります。

負債総額は7,589百万円となり、前連結会計年度末7,225百万円に比べ364百万円(5.0%)増加しております。主な増加要因は短期借入金の増加169百万円(12.3%)、未払法人税等の増加144百万円(89.3%)であります。

純資産合計は6,005百万円となり、前連結会計年度末5,596百万円に比べ409百万円(7.3%)増加しております。主な増加要因は、四半期純利益571百万円であり、主な減少要因は配当金の支払159百万円であります。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

平成24年12月期の業績予想につきましては、平成24年８月１日に公表いたしました業績予想に変更はございません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日において入手可能な情報に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

（４）追加情報

（会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用）

第１四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月４日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月４日）を適用しております。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成23年12月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成24年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,150,193	3,843,778
受取手形及び売掛金	4,036,571	3,878,949
電子記録債権	－	107,498
完成工事未収入金	1,143,501	409,941
有価証券	78,061	198,931
製品	337,950	464,548
仕掛品	332,165	365,853
原材料	1,594,367	1,642,780
未成工事支出金	691,477	563,022
その他	52,270	52,256
貸倒引当金	△1,411	△14,102
流動資産合計	10,415,149	11,513,459
固定資産		
有形固定資産	936,751	903,399
無形固定資産	89,358	77,283
投資その他の資産		
投資有価証券	1,074,473	777,886
その他	326,900	390,653
貸倒引当金	△20,501	△66,944
投資その他の資産合計	1,380,872	1,101,595
固定資産合計	2,406,982	2,082,277
資産合計	12,822,132	13,595,737
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,734,170	3,543,620
工事未払金	427,703	312,153
短期借入金	1,375,977	1,545,320
1年内返済予定の長期借入金	66,666	66,666
1年内償還予定の社債	99,000	165,000
未払法人税等	161,775	306,296
賞与引当金	－	130,208
役員賞与引当金	－	16,500
工事損失引当金	7,111	－
その他	536,438	564,887
流動負債合計	6,408,842	6,650,652
固定負債		
社債	151,500	286,500
長期借入金	133,334	100,001
役員退職慰労引当金	58,396	70,348
退職給付引当金	432,480	442,738
資産除去債務	22,558	22,616
その他	18,228	17,032
固定負債合計	816,499	939,237
負債合計	7,225,342	7,589,889

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成23年12月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成24年９月30日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	996,600	996,600
資本剰余金	1,460,517	1,460,517
利益剰余金	3,108,424	3,520,862
自己株式	△95	△95
株主資本合計	5,565,445	5,977,884
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	81,471	83,624
為替換算調整勘定	△50,126	△55,661
その他の包括利益累計額合計	31,344	27,962
純資産合計	5,596,790	6,005,847
負債純資産合計	12,822,132	13,595,737

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成23年１月１日 至　平成23年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成24年１月１日 至　平成24年９月30日）
売上高	11,126,621	12,409,340
売上原価	9,112,858	10,077,447
売上総利益	2,013,763	2,331,892
販売費及び一般管理費	1,420,207	1,518,854
営業利益	593,555	813,038
営業外収益		
受取利息	7,354	7,827
受取配当金	15,222	16,060
為替差益	－	24,148
製造販売権譲渡益	－	100,000
その他	5,662	13,968
営業外収益合計	28,240	162,005
営業外費用		
支払利息	18,329	18,081
社債発行費	5,065	6,558
為替差損	76,139	－
貸倒引当金繰入額	1	15
その他	1,735	993
営業外費用合計	101,271	25,649
経常利益	520,523	949,393
特別利益		
固定資産売却益	－	810
特別利益合計	－	810
特別損失		
固定資産除却損	113	5
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	22,100	－
投資有価証券評価損	164,651	－
過年度役員退職慰労引当金繰入額	7,512	－
特別損失合計	194,377	5
税金等調整前四半期純利益	326,145	950,198
法人税、住民税及び事業税	203,402	397,537
法人税等調整額	12,241	△18,884
法人税等合計	215,643	378,653
少数株主損益調整前四半期純利益	110,502	571,545
四半期純利益	110,502	571,545

（四半期連結包括利益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成23年１月１日 至　平成23年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成24年１月１日 至　平成24年９月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	110,502	571,545
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	53,006	2,152
為替換算調整勘定	△17,881	△5,534
その他の包括利益合計	35,125	△3,381
四半期包括利益	145,628	568,163
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	145,628	568,163

（3）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。
（4）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。
（5）セグメント情報等
Ⅰ 前第３四半期連結累計期間（自 平成23年１月１日 至 平成23年９月30日）
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント					調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	ＳＳＰ部門	サーマル部門	メディカル部門	ＰＷＢＡ部門	計		
売上高							
外部顧客への売上高	2,962,157	1,223,866	1,092,067	5,848,530	11,126,621	－	11,126,621
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－	－	－
計	2,962,157	1,223,866	1,092,067	5,848,530	11,126,621	－	11,126,621
セグメント利益	352,179	243,157	121,392	269,933	986,662	△393,107	593,555

（注）１ セグメント利益の調整額△393,107千円は、全社費用であり、報告セグメントに帰属しない管理部門に係る費用であります。
２ セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第３四半期連結累計期間（自 平成24年１月１日 至 平成24年９月30日）
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント					調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	ＳＳＰ部門	サーマル部門	メディカル部門	ＰＷＢＡ部門	計		
売上高							
外部顧客への売上高	3,418,733	940,687	1,246,771	6,803,147	12,409,340	－	12,409,340
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－	－	－
計	3,418,733	940,687	1,246,771	6,803,147	12,409,340	－	12,409,340
セグメント利益	517,686	115,821	119,949	435,139	1,188,597	△375,558	813,038

（注）１ セグメント利益の調整額△375,558千円は、全社費用であり、報告セグメントに帰属しない管理部門に係る費用であります。
２ セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。